

政策研究テーマ及び具体的成果・活用状況（平成 23 年度）

【プロジェクト研究】

研究テーマ名	研究成果の具体例
<p>人口減少下における全員参加型社会の在り方についての調査研究</p>	<p style="text-align: center;">厚生労働省等における活用状況</p> <p>○プロジェクト研究シリーズ No. 1 『高齢者雇用の現状と課題』 労働政策研究報告書 No. 139 『登録型派遣労働者のキャリアパス、働き方、意識—88 人の派遣労働者のヒアリング調査から—（1）分析編・資料編／（2）事例編』 労働政策研究報告書 No. 140 『シングルマザーの就業と経済的自立』 労働政策研究報告書 No. 142 『高齢者の社会貢献活動に関する研究—定量的分析と定性的分析から—』 調査シリーズ No. 92 『企業の社会貢献の取組みと労働者のキャリア形成—実証：中高年期に障害者雇用に携わった人々—』 調査シリーズ No. 94 『高年齢者の継続雇用等、就業実態に関する調査』 調査シリーズ No. 95 『子どものいる世帯の生活状況および保護者の就業に関する調査』 資料シリーズ No. 93 『高齢者の就業実態に関する研究—高齢者の就業促進に向けた企業の取組み—』</p> <p>○厚生労働省は、『登録型派遣労働者のキャリアパス、働き方、意識—88 人の派遣労働者のヒアリング調査から—』について、派遣労働者の生の声を把握できるという点において役に立った、とした。</p> <p>『シングルマザーの就業と経済的自立』については、母子家庭の母親の経済的自立に多くの壁がたちはだかっているという点から分析が行われ、母子家庭への支援としては、稼得能力の向上と子育て負担の軽減に向けての支援が必要不可欠とし、具体策を提示しているほか、就業支援策を通じての経済的自立を目指すことには限界があるとの実態を踏まえた対応として、ワーク・ライフ・バランス型経済的自立が必要である旨を示しており、今後の施策を進める上での参考になる、とした。</p> <p>『企業の社会貢献の取組みと労働者のキャリア形成—実証：中高年期に障害者雇用に携わった人々—』については、取り上げられた企業の元担当者の方々が障害者雇用の推進に意義を見だしつつ取り組まれたこと、ハローワークの援助も役に立ったこと、経済団体や企業同士のネットワークが大きな役割を果たすことなど、行政にとって、心強い、有益な情報である、と評価した。</p> <p>『子どものいる世帯の生活状況および保護者の就業に関する調査』については、①子どもとその保護者を巡る状況について、多角的かつ詳細に調査した意欲的な研究であり、特に、専業主婦の二極化という調査結果についてはマスコミや、国会審議にも取り上げられた、②両立支援制度の普及や職場環境の整備にも課題が多く残されていると考えられ、今後の施策を検討するに当たって本調査結果を活用したい、とされた。</p> <p>『高齢者の就業実態に関する研究—高齢者の就業促進に向けた企業の取組み—』については、様々な業種、規模の企業の事例を取り上げた本研究は、高齢者雇用の取組の考察・検討の材料を提供するものとして有用と考える、とした。</p>

<p>雇用・失業の地域構造の変革要因に関する研究</p>	<p>○調査シリーズ No. 93 『地域における生産活動と雇用に関する調査』 調査シリーズ No. 101 『地方自治体における雇用創出への取組みと課題』 資料シリーズ No. 106 『東日本大震災の雇用対策を考えるための事例研究—雲仙普賢岳噴火、阪神・淡路大震災、中越地震、能登半島地震、中越沖地震—』 ディスカッションペーパー11-07 『地域の成長分野における労働需要の推計—電気機械・輸送機械製造業を対象に—』 ディスカッションペーパー12-01 『U・I ターン時の仕事決定タイミングと正社員就職、報酬、仕事上の満足度の関連』 ディスカッションペーパー12-02 『小地域における地域産業連関表の推計と雇用誘発シミュレーション—熊本県におけるケーススタディー』</p> <p>○厚生労働省は、『地域における生産活動と雇用に関する調査』について、これまでリーマン・ショック以降かつ東日本大震災以降に実施した地域産業に関する研究はなく、世界同時不況後に業種ごとに取り組んだ方向性、人事・労務管理上の取組について、改めて確認できた意義は大きく、地域産業に関する現状把握にも有用として評価し、新たな地域雇用対策を検討する上での参考資料や、雇用政策研究会での活用も検討したい、とした。</p> <p>『東日本大震災の雇用対策を考えるための事例研究—雲仙普賢岳噴火、阪神・淡路大震災、中越地震、能登半島地震、中越沖地震—』については、過去の大規模災害発生後に実施された雇用対策の内容を整理・評価し、さらにそれらをより望ましいものとするためにどのような工夫が必要か等の示唆を与えており、今後施策を検討する上で参考になると考えられる、とした。</p> <p>『地域の成長分野における労働需要の推計—電気機械・輸送機械製造業を対象に—』については、新成長戦略で成長が見込まれる環境・エネルギー分野に関連する電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業について、非常に詳細な分析手法を行っており、その水準は高いと考えられ、地域の雇用対策を進める上での基礎情報として有用である、とした。</p> <p>『U・I ターン時の仕事決定タイミングと正社員就職、報酬、仕事上の満足度の関連』については、U・I ターンを進める上で必要となる事項についての具体的な分析・提案がなされており、地域雇用対策の新規施策を検討する上での参考資料として活用した、とした。</p> <p>『小地域における地域産業連関表の推計と雇用誘発シミュレーション—熊本県におけるケーススタディー』では、県内の特定地域について産業別・需要別の雇用誘発効果をみるのが可能となり、しかも当該地域だけでなく、県内他地域、当該県以外との連関も把握でき、また、財政バランス試算も行っていることから、県内の特定地域の雇用誘発状況・雇用情勢の把握、雇用創出効果の計測等に資するものと考えられる、と評価した。</p>
<p>多様な働き方への対応、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた就業環境の整備の在り方に関する調査研究</p>	<p>○プロジェクト研究シリーズ No. 2 『ワーク・ライフ・バランスの焦点—女性の労働参加と男性の働き方』 プロジェクト研究シリーズ No. 3 『非正規就業の実態とその政策課題—非正規雇用とキャリア形成、均衡・均等処遇を中心に』 労働政策レポート No. 9 『女性労働政策の展開—「正義」「活用」「福祉」の視点から—』 労働政策研究報告書 No. 143 『「JILPT 多様就業実態調査」データ二次分析結果報告書—ニュー・フロンティア論点とオールド・フロンティア論点—』 労働政策研究報告書 No. 150 『出産・育児と就業継続—労働力の流動化と夜型社会への対応を—』 労働政策研究報告書 No. 151 『ワーク・ライフ・バランス比較法研究（最終報告書）』</p>

調査シリーズ No. 86 『JILPT 「多様な就業形態に関する実態調査」－事業所調査／従業員調査－』
調査シリーズ No. 89 『平成 21 年度 日本人の就業実態に関する総合調査 第 1 分冊 本編／第 2 分冊 就業者データ編』
調査シリーズ No. 98 『中小企業の雇用管理と両立支援に関する調査結果 (3)』
資料シリーズ No. 96 『契約社員の就業実態－個人ヒアリング調査から－』
資料シリーズ No. 107 『「多様な正社員」の人事管理－企業ヒアリング調査から－』
資料シリーズ No. 108 『日本人の労働時間・休暇～残業・年休未消化と意識・職場環境～』
ディスカッションペーパー12-03 『限定正社員区分と非正規雇用問題』
ディスカッションペーパー12-06 『限定正社員の活用目的に関する一考察－雇用区分の動態性に注目して－』

○厚生労働省については、『ワーク・ライフ・バランスの焦点－女性の労働参加と男性の働き方』について、平成 24 年版労働経済白書の執筆に当たっての参考として活用したほか、今後の政策立案に役立てていきたい、とした。

『非正規就業の実態とその政策課題－非正規雇用とキャリア形成、均衡・均等処遇を中心に』については、非正規雇用をめぐる課題を幅広く扱っており、非正規雇用問題に横断的に対応することが重要とする「望ましい働き方ビジョン」の方向性と軌を一にする研究と評価できる、とした。また、欧米主要国における非正規雇用に関する研究結果及び均衡待遇の実現に向けての各国の取組やその問題点についての指摘についても有用である、としている。

『女性労働政策の展開－「正義」「活用」「福祉」の視点から－』については、戦後以降の女性労働政策を通史的に研究しているが、その際、法律ごとでなく、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、パートタイム労働法を一体のものとして、法政策を研究することにより、女性労働政策の発展過程をより広い視野から把握することを可能にしている等、重要な視点を提供しており、今後、雇用均等行政職員の研修の際の、女性労働政策の展開やその背景説明等に活用することが予定される、とした。また、政策立案にあたり、留意すべき視点として活用することが期待される、としている。

『「JILPT 多様就業実態調査」データ二次分析結果報告書－ニュー・フロンティア論点とオールド・フロンティア論点－』については、非正規雇用をめぐる課題を幅広く扱っており、非正規雇用問題に横断的に対応することが重要とする「望ましい働き方ビジョン」の方向性と軌を一にする研究、と評価した。また、正規・非正規間の職業能力開発機会の格差の背景として、正規・非正規間には仕事に必要とされる能力そのものに違いがあり、その差が勤続に従い一層拡大すること等を明らかにしており、興味深い考察をしている、とした。

『出産・育児と就業継続－労働力の流動化と夜型社会への対応を－』については、今後の両立支援施策の検討に有益な示唆を与えるものであるとし、次世代法の延長に係る検討や、両立制度の労働者への情報提供、男性の育児参加を促すイクメンプロジェクト等の予算要求活動等に活用したい、とした。

『ワーク・ライフ・バランス比較法研究 (最終報告書)』については、日本をはじめとした各国の現状や法政策、今後の課題等について精力的に分析が行われており、育児・介護休業法の今後の見直しや、次世代育成支援対策推進法の延長に係る検討に当たって、非常に有益な示唆を与えるものである、とした。また、各種統計については、労

	<p>働者の利益に偏重しない視点を与えてくれるとともに、そこでの分析結果に基づく示唆は、制度の実行性を担保するための論点として重要、とした。</p> <p>『JILPT「多様な就業形態に関する実態調査」－事業所調査／従業員調査－』については、非正規雇用をめぐる実態の的確な把握と分析を通じて得られた基礎的データとして有用なものとなっており、今後の検討過程において活用されるものとする。</p> <p>『平成21年度 日本人の就業実態に関する総合調査 第1分冊 本編／第2分冊 就業者データ編』については、日本人の働き方の実情を体系的、継続的に把握するための定点観測調査の第1回目として多くの基礎的調査事項が盛り込まれており、今後、時系列での調査・分析が蓄積され、就業実態の変化やその兆候の的確な把握により、労働政策の企画立案に一層貢献していくことを期待する、とした。</p> <p>『中小企業の雇用管理と両立支援に関する調査結果 (3)』では、男性従業員及び女性の非正規従業員に係る育児休業の取得率の分析のほかヒアリングも行っており、現在の施策効果の検証や今後の施策の検討に資する研究であり、今後一層の取組が必要な中小企業向け施策の立案に活用したい、とした。</p> <p>『契約社員の就業実態－個人ヒアリング調査から－』については、契約社員の人事管理と就業実態について労働者に詳細なヒアリング調査を行った結果がまとめられており、労働契約法改正法案の検討過程において、2010年、2011年の先行調査と併せ、多様な有期契約労働者の実態把握のための有益な資料となった、とした。</p> <p>『日本人の労働時間・休暇～残業・年休未消化と意識・職場環境～』については、近年実施された調査データを再集計し、時間外労働の発生と年次有給休暇の取得が低調である実態についての労働者の意識や考え方に焦点を当てて分析しており、職場環境の改善に向けて政策を推進していく必要があることが強く示唆されており、今後、施策を講じていくにあたって活用できる、とした。</p> <p>『限定正社員の活用目的に関する一考察－雇用区分の動態性に注目して－』については、限定正社員の導入背景とその活用方針（限定のない正社員と限定正社員のキャリアパスを分けるか統合するか）の関連性を、内部労働市場論や人材ポートフォリオ論にあてはめながら分析しており、限定正社員の活用のあり方について新しい視点を与えている、とした。</p>
<p>労働関係が個別化する中での安定した労使関係を構築するための総合的な研究</p>	<p>○プロジェクト研究シリーズ No. 4『日本の雇用終了－労働局あっせん事例から』 労働政策研究報告書 No. 145『雇用ポートフォリオ編成の研究－メーカーにおける IT 事業部門・研究部門と百貨店の事例－』 資料シリーズ No. 100『職場のいじめ・嫌がらせ、パワーハラスメント対策に関する労使ヒアリング調査－予防・解決に向けた労使の取組み－』</p> <p>○厚生労働省は、『日本の雇用終了－労働局あっせん事例から』について、個別労働紛争の典型的な類型である雇用終了関係の事案に焦点を当て、事案の分析が詳細になされているため、データを提供した都道府県労働局を含め、各労働局におけるあっせん処理の傾向を把握することができ、今後の個別労働紛争解決制度の運営を行うに当たり、非常に有益な資料となると考えている、とした。</p> <p>『職場のいじめ・嫌がらせ、パワーハラスメント対策に関する労使ヒアリング調査－予防・解決に向けた労使の取組み－』については、これを基に必要な検討を行い、『職場のいじめ・嫌がらせ問題に関する円卓会議ワーキング・グループ報告』において、この問題の予防・解決に取り組む労使の取組例（ひな形）という形に整理して、社会に提示することができた、とした。報告において提示された労使の取組例は、今後の労使による職場のパ</p>

	<p>ワーハラスメント対策の雛形として利用されることが見込まれる、としている。</p>
<p>新たな経済社会における能力開発・キャリア形成支援のあり方に関する研究</p>	<p>○プロジェクト研究シリーズ No. 5『中小企業における人材育成・能力開発』 労働政策研究報告書 No. 141『学卒未就職者に対する支援の課題』 労働政策研究報告書 No. 148『大都市の若者の就業行動と意識の展開―「第3回若者のワークスタイル調査」から―』 調査シリーズ No. 90『ジョブ・カード制度における雇用型訓練受講者の追跡調査―「第1回・第2回転職モニター調査」結果速報―』 調査シリーズ No. 99『中小製造業（機械・金属関連産業）における人材育成・能力開発―アンケート・インタビュー調査結果―』 資料シリーズ No. 109『中小製造業（機械・金属関連産業）における人材育成・能力開発―製造業集積地域での取組み―』</p> <p>○厚生労働省は、『中小企業における人材育成・能力開発』について、中小企業に対する人材育成・能力開発の今後の課題や政策的支援の必要性についての検討結果が示されており、今後の能力開発関係政策の企画立案に対して参考となるものと考えられる、とした。</p> <p>『学卒未就職者に対する支援の課題』については、今後更に新卒者対策を充実させるために必要な知見・提言が多く盛り込まれており、今後の対策等の企画に当たっての参考資料としている、とした。</p> <p>『大都市の若者の就業行動と意識の展開―「第3回若者のワークスタイル調査」から―』については、フリーター対策の企画に当たっての参考としており、対外的にフリーターの実態について説明する際にも、本研究の結果を紹介している、とした。</p> <p>『ジョブ・カード制度における雇用型訓練受講者の追跡調査―「第1回・第2回転職モニター調査」結果速報―』については、パネル調査に基づき、雇用型訓練受講者の属性や訓練終了後の雇用の状況等を、他のジョブ・カードを活用した職業訓練の受講者等と比較しながら分析したものであり、必要な見直しや拡充に係る措置を企画・立案するための基礎資料として高く評価でき、次回の最終研究報告にも期待したい、とした。ジョブ・カード制度推進事業（委託費）をはじめとする関連施策の必要な見直しや拡充に係る措置を企画・立案するための参考としたほか、都道府県の担当者等に、ジョブ・カード制度や雇用型訓練の効果等を説明するための資料を作成する際にも本研究報告を参考とした、とした。</p> <p>『中小製造業（機械・金属関連産業）における人材育成・能力開発―アンケート・インタビュー調査結果―』および『中小製造業（機械・金属関連産業）における人材育成・能力開発―製造業集積地域での取組み―』については、中小製造業を対象とした人材育成・能力開発の支援策や、支援体制のあり方の検討における基礎資料としての活用に資するものと考えられる、とした。</p>
<p>労働市場における需給調整機能・キャリア支援機能の強化に関する研究開発</p>	<p>○プロジェクト研究シリーズ No. 6『キャリア形成支援における適性評価の意義と方法』 労働政策研究報告書 No. 146『職務構造に関する研究―職業の数値解析と職業移動からの検討―』 労働政策研究報告書 No. 147『中小企業における人材の採用と定着―人が集まる求人、生きいきとした職場／アイトラッキング、HRM チェックリスト他から―』 労働政策研究報告書 No. 149『成人キャリアガイダンスの多様なニーズとそのあり方に関する調査研究』</p>

調査シリーズ No. 91 『中小企業における既卒者採用の実態』
資料シリーズ No. 101 『職業分類の改訂記録—厚生労働省編職業分類 2011 年改訂—』
ディスカッションペーパー11-06『若年者の自尊感情の実態と自尊感情等に配慮したキャリアガイダンス』
ディスカッションペーパー12-05 『職業相談の困難場面における対応方法の研究』
研究開発成果物 『新版・職業紹介用職種別チェックポイント—専門・技術・事務・販売編—』
研究開発成果物 『職業相談シミュレーションプログラム（困難場面への対応研究実施マニュアル、ヒント集）』
研究開発成果物 『キャリアトークの改訂（キャリアトークⅡ）』
研究開発成果物 『第4回改訂 厚生労働省編職業分類 利用の手引き』
研究開発成果物 『VRT カード事例集—VRTカードの活用と実践に向けて—/VRTカードワークブック』
研究開発成果物 『キャリアシミュレーションプログラム活用の手引き—理論と実践—』

○厚生労働省は、『キャリア形成支援における適性評価の意義と方法』については、職業適性検査等の解説はもとより、カード式ツールやコンピュータ支援型ツールの新たな活用等についての研究成果が簡潔にまとめられており、キャリア形成支援や職業相談を行う中でこうした検査やツールをいかに活用して効果的な相談・支援を行うことができるかを検討する上で参考となるものとする。

『中小企業における人材の採用と定着—一人が集まる求人、生きいきとした職場/アイトラッキング、HRM チェックリスト他から—』については、求職者が実際に求人票のどの部分を注視しているか（アイトラッキング）を実証的に明らかにしており、求人者サービスの充実・強化に係る施策を検討して行くに当たって参考となるものであり、研修にも活用している、とした。

『成人キャリアガイダンスの多様なニーズとそのあり方に関する調査研究』については、30～40代のミドル層の正規就労者、非正規就労者、無業者、求職者及び専業主婦層を対象に、どのような状況にある者がどのようなキャリアガイダンス・ニーズを抱えているかを調査することにより、ミドル層の実態や潜在的なキャリアガイダンス対象層への対応の必要性等について示唆しており、今後施策を展開していくために役立つと思われる、とした。

『中小企業における既卒者採用の実態』については、アンケート及びヒアリングにより、既卒者採用の理由や各種支援制度の活用状況など既卒者採用の実態が明らかにされており、今後の取組の企画に当たって参考資料として活用している、とした。

『職業分類の改訂記録—厚生労働省編職業分類 2011 年改訂—』は、改訂に至る経緯が詳細にまとめられており、数字の羅列になりがちな分類の考え方や背景がよく理解でき、的確な分類の利用に役立つ、とした。

『若年者の自尊感情の実態と自尊感情等に配慮したキャリアガイダンス』では、就労支援・キャリア支援を実効性高いものにするための、自尊感情に配慮したキャリアガイダンスについて、様々な場面で個人と関わるキャリア・コンサルタントに期待される役割としての示唆があり、キャリア・コンサルタントの資質向上のための施策を推進していく上で役に立つものとする。

『職業相談の困難場面における対応方法の研究』については、様々な困難場面を収集し、

	<p>その対応方法について、特に重視すること、あまり重視しないことなどを整理、分析した本研究はとてもわかりやすく、今後の職業相談に生かしていけると思う、とした。</p> <p>『第4回改訂 厚生労働省職業分類 利用の手引き』は、ハローワークにおいて求人票・求職票に職業分類番号を付与する際の参考資料として活用されている、とした。</p>
--	--

【課題研究】

研究テーマ名	研究成果の具体例
	厚生労働省等における活用状況
雇用調整助成金の効果	<p>○資料シリーズ No. 99『雇用調整助成金による雇用維持機能の量的効果に関する一考察』</p> <p>○本研究について厚生労働省は、リーマン・ショック後の労働時間を加味した労働投入量が現実の雇用量を下回る乖離幅に着目し、雇用維持効果を試算されたことは画期的である、とした。</p>
女性管理職登用等ポジティブアクションの課題について	<p>○資料シリーズ No. 105『大企業における女性管理職登用の実態と課題認識—企業人事等担当者及び女性管理職インタビュー調査—』</p> <p>ディスカッションペーパー12-04『企業における女性管理職登用の課題について—人事等担当者・女性管理職インタビュー調査から』</p> <p>○本研究では、両立支援策だけでは昇進等に結びつかないことや、採用ベースで管理職になりやすい区分を増やすためには学校段階でのキャリア支援が必要である等の指摘がなされており、これらにつき厚生労働省は、第1回女性の活躍による経済活性化を推進する関係閣僚会議（平成24年5月22日）における厚生労働大臣のプレゼンテーションの内容に盛り込んだとした。今後、具体的な女性の活躍促進策の展開に当たっても、本研究の成果を参考にする予定としている。</p>
外国人労働者受入れの社会的対応に関する研究	<p>○調査シリーズ No. 87『地方自治体における外国人の定住・就労支援への取組みに関する調査』</p> <p>○厚生労働省は、平成23年12月に法務省を中心に関係省で取りまとめた新施策である外国人高度人材ポイント制の企画立案・協議の際に、本調査結果や自治体の意見・考え方を参考資料として活用したほか、今後、「日系定住外国人施策に関する行動計画」のフォローアップをはじめ、政府内で日本に在住する外国人との共生社会の実現に関する検討の場がある際にも活用する予定としている。また、今後、日系人一時帰国支援事業により帰国した外国人に係る再入国措置の検討の際にも参考資料として活用する予定としている。</p>